

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 18 年 10 月 26 日 (2006.10.26)

【公表番号】特表 2006-505667 (P2006-505667A)  
 【公表日】平成 18 年 2 月 16 日 (2006.2.16)  
 【年通号数】公開・登録公報 2006-007  
 【出願番号】特願 2004-551464 (P2004-551464)  
 【国際特許分類】

C 0 9 K 13/04 (2006.01)

C 0 9 K 13/06 (2006.01)

C 0 9 K 13/08 (2006.01)

H 0 1 L 21/308 (2006.01)

【F I】

C 0 9 K 13/04

C 0 9 K 13/06

C 0 9 K 13/08

H 0 1 L 21/308 E

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 9 月 7 日 (2006.9.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

a) フッ化水素および / またはフッ化オニウム錯体を含む酸、および

b) 次式の界面活性剤：

【化 1】



( 式中、

$R_f$  は、 $C_1 \sim C_{12}$  ペルフルオロアルキル基であり、

$R^1$  は、H、アルキル基、ヒドロキシアルキル基、アルキルアミノオキシド基、アルキルカルボキシレート基またはアミノアルキル基であり、そして  $M^+$  はカチオンである )  
 を含んでなる 水性エッチング溶液。

【請求項 2】

前記  $R^1$  基の前記アルキル、ヒドロキシアルキル、アルキルアミノオキシド、アルキルカルボキシレートまたはアミノアルキル基が、1 ~ 6 個の炭素原子を含み、 $R_f$  が、 $C_3 \sim C_6$  ペルフルオロアルキル基である、請求項 1 に記載のエッチング溶液。

【請求項 3】

前記界面活性剤を 10 ~ 1000 ppm 含む、請求項 1 に記載のエッチング溶液。

【請求項 4】

0.1 ~ 49 重量パーセントの HF またはそのフッ化オニウム錯体を含む、請求項 1 に記載のエッチング溶液。

**【請求項 5】**

0.1～10重量%のHFと20～40重量%のフッ化アンモニウムを含む、請求項1に記載のエッチング溶液。

**【請求項 6】**

前記フッ化オニウム錯体が、ピリジニウムポリ(フッ化水素)、オキソニウムポリ(フッ化水素)、アンモニウムポリ(フッ化水素)およびホスホニウムポリ(フッ化水素)から選択される、請求項1に記載のエッチング溶液。

**【請求項 7】**

基板を、請求項1～6のいずれかに記載のエッチング溶液と接触させることを含む、エッチング方法。